



議員 長谷部 竜作 公明党

代表質問

ており、現時点では、屋内遊戯施設を設置する計画はありません。

今後、施設の改修計画などに併せて、必要性を含め検討します。

JR松尾駅南側の改札設置

山武市松尾地区交流拠点整備構想の案には、「JR松尾駅南側改札の設置検討」とありますが、進捗状況を伺います。

総合政策部長 令和5年度から改札設置に関する基礎調査業務を開始しており、この調査結果を基に、JR東日本千葉支社と改札設置に関する協議を開始しています。

社会教育施設と事業について

歴史民俗資料館は、1階の展示室が暗く、資料も小さく見づらく感じます。設備や展示内容の充実を図ることに、見解を伺います。

教育部長 資料にダメージを与えないLED製スポットライトの導入や資料を拡大するなど、見やすい展示となるよう対応していきます。

成東・東金食中植物群落の保護活動と守る会について伺います。

教育部長 成東・東金食虫植物群落を守る会の会員数は現在29名で、その多くは、仕事を退職された高齢者の方々です。群落保護の主な活動として、年間9

回の保護活動のほか、見学者の案内や観察会などを行っており、重要な役割を担っています。

しかし、若い世代の加入がなく、後継者育成が進んでいないことから、市教育委員会では、広報紙でのボランティア募集や、ボランティア育成のため近隣大学との連携を検討しています。

食中植物群落は乾燥化が懸念されており、将来、食中植物の生育が危ぶまれますが、その保護策を伺います。

教育部長 生育には湿った環境が必要であり、現在、井戸やため池の掘削等、保護・増殖のための施策を盛り込んだ保存活用計画を策定中です。

山武市立図書館の現状と特色を伺います。

教育部長 成東図書館は医療健康情報や高齢者サービス、さんぶの森図書館はビジネス支援や障害者サービス、松尾図書館は地域資料など、それぞれが特色を持ちながら連携してサービスを行っています。

そのほか、おはなし会などの開催、調べ物を支援するレファレンスサービス、市の図書館にない図書等の提供を行うリクエストサービス、小中学校・子ども園や子育て支援センター等への配本サービス、障害者への宅配や郵送貸出しサービスなど、さまざまなサービスを展開しています。

図書館を交流拠点とした活用実績を伺います。

教育部長 成東図書館が開催する「おしごとリブラボ」は、のぎくプラザを会場に、子ども達が仕事体験する事業であり、さまざまな年代のボランティアと子ども達が世代間交流を行っています。

また、社会福祉協議会やシルバー人材センター、図書館が連携して実施している「はなまるサロン」は、シニア世代の交流の場となっています。

松尾図書館のバルコニーには、備付けの長椅子が3個あり、今後、中学生以上を対象に希望者へ机を貸出し、「(仮称)大人のくつろぎコーナー」として、飲食と会話が可能なスペースとする予定です。

市の公共施設個別計画では「将来的には集約等も視野に入れて検討」とありますが、その進捗を伺います。

教育部長 具体的な方向性は決まっておらず、今後は、関連部署で構成するプロジェクトチームによる検討に加え、令和6年度に設置を予定する山武市行政改革外部評価委員会の意見を伺いながら進めていきます。

【その他の質問】▼災害時のごみ処理計画▼都市計画道路の整備状況▼乳幼児健診等の推進▼給食残渣の処分方法▼土木関連予算にかかる近隣自治体との比較

さんぶの森公園の整備

市長の施政方針には「災害に強い強靱なまちづくりの推進」として、さんぶの森中央会館に自家発電設備の設置を進めるとありましたが、現在の進捗状況を伺います。

総務部長 避難所の停電対策として、①診療所を含むさんぶの森中央会館、②空調も含めたさんぶの森中央体育館、③さんぶの森武道館の電力確保のための非常用発電機の整備を計画しています。

発電機の種類や容量等の仕様は、令和6年度に設計業務を行い、その後、整備工事を実施する予定です。

さんぶの森公園利用者からは、雨天時にも遊べる屋内遊戯施設の設置を希望する声がありますが、市の考えを伺います。

教育部長 現在、市内の社会教育施設および社会体育施設ともに、老朽化に伴う施設維持改修工事を進め



防災・減災について

問 子どもや女性は、避難所や仮設住宅において性暴力に巻き込まれるリスクを抱えており、これらを予防するために必要な取組や環境整備、備蓄品の追加等について伺います。

答 総務部長 更衣室や授乳室として設置できるようなルームテント等を配備しており、女性職員の配置により避難所での相談にも対応できると考えます。また、犯罪防止のための防犯ブザーやホイッスルを、備蓄品に追加導入していきたいと考えます。

問 避難行動要支援者支援計画の策定段階における課題を伺います。

答 総務部長 大きな課題として、1点目は、福祉避難所を予定する施設の企業と協定を締結していますが、避難の具体的な受入れが明確化されていないことです。また、受入れ施設が被災した場合の関連グループ施設への1・5次の避難も具体化されていません。

2点目は、市が福祉避難所を開設する場合、運営する介護士等の確保ができていないことです。

問 個別避難計画の作成について、進捗状況を伺います。

答 総務部長 計画対象者を熟知しているケアマネジャー等に協力いただき、試験的に1名の個別避難計画を作成しました。その後、令和5年度に業務委託のための仕様書、契約書、作成業務マニュアルを整備し、社会福祉事業者に対し作成業務の説明会を行いました。今後、計画作成の業務委託契約を結び本格化していきます。

5歳児健診の導入について

問 全国的な実施に向けて、国が助成を開始した「5歳児健診」の導入について、本市の取組状況を伺います。

答 保健福祉部長 医師や心理の専門職の確保が困難な状況であり、また、発達障害の行動特性に気づくには、時間も短く、場所も異なる集団健診では難しいと考えます。これまでの相談体制を継続し、連携を深め取り組みます。

問 就学前の相談体制を充実させるための今後の取組を伺います。

答 市長 巡回型の相談や未就園児への支援等の相談体制はすでに構築していますが、保護者が悩みを一人で抱えることのないよう、今後も引き続き、「切れ目のない支援」に取り組みます。



まちづくりについて

問 多様性の時代の開かれた公民館として、さらに発展させていくべきと考えますが、見解を伺います。

答 教育長 公民館の役割は、地域住民の教育、学術、文化に関する事業を行い、教養の向上や健康増進を促し、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与することです。今後も地域の人々が集い、学び、交流できる場となるような自主事業や貸館事業を充実させていきます。

問 松尾にぎわい処の利活用については、早急に結論を出すべきと考えますが、見解を伺います。

答 総合政策部長 これまでの検討経緯と現在策定中の山武市松尾地区交流拠点等整備構想を併せ、より良い結論を導き出せるよう、本年4月から新設される「地域構想推進係」において、取り組んでいきます。

問 令和5年度、現行の空家等対

策計画の期間が満了するにあたり、新たに策定される計画のポイントを伺います。

答 都市整備課長 過去の取組を継続しつつ、特別措置法の一部改正により強化された内容を反映しており、特定空家になる前の対応強化と重点エリアの設定、実施体制の強化を計画改定のポイントとしています。

特定空家になる前の対応強化では、空き家バンク制度の強化や新たに法改正により管理不全空家の認定・指導・勧告措置を検討します。重点エリアの設定では、地域交流拠点周辺を重点エリアとして対応強化を図り、また関連団体や庁内での連携体制も強化します。

給食の残渣(ごんさ)について

問 学校給食の残渣を堆肥化して農業に利用したいとの声がある中、技術や設備の問題も含め、将来的には民間システムの導入が必要であり、まずは希望する個別農家に向けた相談支援体制を整えるべきと考えますが、見解を伺います。

答 産業振興部長 給食残渣を堆肥化し、農業に活用することは、資源の再利用のほか、農業者の支援にもつながるものと考えます。

農政課が窓口となり、農業者から給食残渣利用の相談があった場合は、必要量や受取日時等を聞き取り、給食センターへつなぐ役割を果たしたいと考えます。